

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名【新】武道の魅力発信事業費（R8）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

観光文化スポーツ部 地域スポーツ課 スポーツ交流係 電話番号：058-272-1111(内2619)

E-mail：c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 8,000 千円 （現計予算額： 0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	8,000	4,000	0	0	0	0	0	0	4,000
決定額									

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

近年、武道の持つ伝統や精神性が改めて注目されており、国も武道ツーリズムの普及を推奨しているが、その受け皿として魅力的なコンテンツ創出が必要であり、そのためには地域における武道の普及啓発、武道に対する理解促進が必要。

現在、中学校では武道が必修化され、多くの県民が一度は武道に触れる経験をしているが、履修後の継続率は低く、再び武道に触れる機会がない。

（2）事業内容

○武道啓発イベントの開催

- ・ 武道家、武道に関する著名人等による講演会
- ・ 各武道の演武の披露
- ・ 武道体験コーナー、武具等展示コーナー

(3) 県負担・補助率の考え方

地域未来交付金の対象プロジェクトに位置付け（国1/2、県1/2）

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	450	企画にかかる景品等
役員費	50	保険料
使用料	200	会場使用料
委託料	7,300	広報用物品作成、会場設営・イベント運営
合計	8,000	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県清流の国スポーツ振興条例第9条
- ・第2期岐阜県清流の国スポーツ推進計画
（I生涯にわたる健康と生きがいをづくりのスポーツ推進）

(2) 国・他県の状況

- 2019年9月 武道ツーリズム研究会を設置
- 2020年3月 武道ツーリズム推進方針を策定

(3) 事業主体及びその妥当性

- 主催：岐阜県
- 協力：県スポーツ協会、各武道競技団体

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

武道啓発イベントに参加することで、武道に興味を持ち、継続的に競技に参加、観戦等に訪れる県民を増やす。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R6)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
県民武道実施率	0.70%	—	—	—	1.70%	—

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	
令和5年度	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

- ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
3:期待以上の成果あり
2:期待どおりの成果あり
1:期待どおりの成果が得られていない
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)
2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項
中学校での武道必修化に伴い、多くの県民が一度は武道に触れる経験をしているものの、履修後の継続率が低く、再び武道に触れる機会がない。

(次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
武道を始める、再開する機会を継続的に提供することで、地域における武道の普及啓発、武道に対する理解促進に取り組む。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】